

# 巻 頭 言

学 長 安 藤 恒三郎

本学は、赤十字の掲げる人道 humanity の理念を基調に、国内・国際社会で活躍し得る実践力のある看護師・保健師を育成する大学として、今年、開学 10 周年を迎えます。800 名を超える卒業生が、中部ブロック管内の赤十字病院をはじめ、各分野で活躍しています。また、平成 22 年 4 月に大学院修士課程を開設しましたが、看護学研究科看護学専攻（修士課程）の長期履修制度として初めての修了生・看護学修士が誕生しました。本学の今後の発展にとって一つの大きな節目と言えるでしょう。

国内での政権交代、東アジアや中東・アフリカでの政情不安、EU での経済不安など世界がいかに激動しようとも、私たちは社会のニーズに肅々と答えていくのみです。

大学の学生教育は教員の研究成果によって裏打ちされます。優れた研究業績が本紀要に発表されることを期待しています。なお、同時に、学外からの投稿および大学院生の文献レビューや卒業生の研究論文が投稿されることを歓迎したいと思います。

一昨年 3 月の東日本大震災および福島原発事故から 2 年が過ぎました。現在も多数の方が避難生活を余儀なくされていることに心を痛めます。昨年の特集に続いて、本号でも東日本大震災関連の特集が組まれていますので、ぜひご一読ください。